



就実大学経営学部 長期インターンシップ

就実大学経営学部
長期インターンシップ運営委員会

長期インターンシップ概要

- 名称 長期インターンシップ
- 実施年次 2年次後期
- 派遣人数 70～80名（RBMコース必修）
- 期間 15週間（10月～1月）
週4日
総勤務日数50日
- 単位 8単位
- 成績評価 インターンシップの学びの成果をレポートにし、ルーブリック評価

目的

社会で活躍するためには、学部教育の早い段階で主体性を養い、社会を知ることによってその後の学びを見通すことが必要である。長期インターンシップの目的は、以下4つである。

- ① 社会・企業の実態に触れること
- ② 経営学の専門知識を修得し実践すること
- ③ 学生の主体性を引き出し、主体性を持って経営学的課題に取り組むこと
- ④ 自らの考えをまとめて表現する能力を身につけること



評価対象

長期インターンシップの評価は、その目的と対応する形で以下4つの課題を対象とする(括弧内は全体評価に占める割合を示している)。

- ① 派遣先企業や関連産業の文化理解の課題(25%)
- ② 長期インターンシップ運営委員会から認定を受けた企業別の研修課題(25%)
- ③ 自主課題による地域経済に関する視野拡大の課題(25%)
- ④ ITスキルを用いた上記①・②・③の課題に関するプレゼンテーション(25%)



評価方法

上記の課題は、いずれも以下の方法で評価を行う。

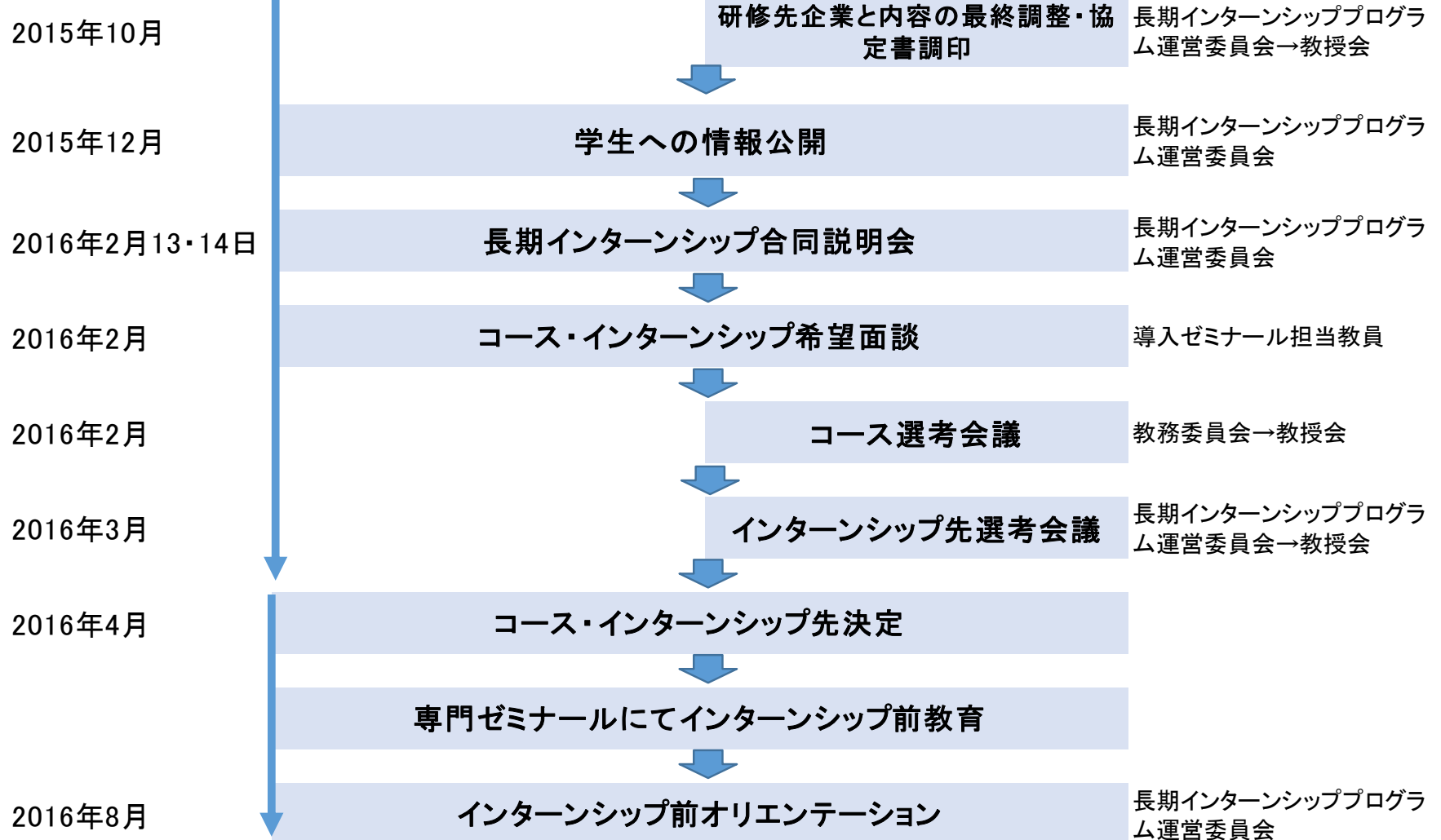
- ①
 - ②
 - ③
 - ④
- 単位の実質化のため、達成目標に対する達成度をルーブリック(達成度評価)方式で採点を行う

長期インターンシップに係る事前手続き

学生

運営側

運営母体



※ 日程は2016年度のもの

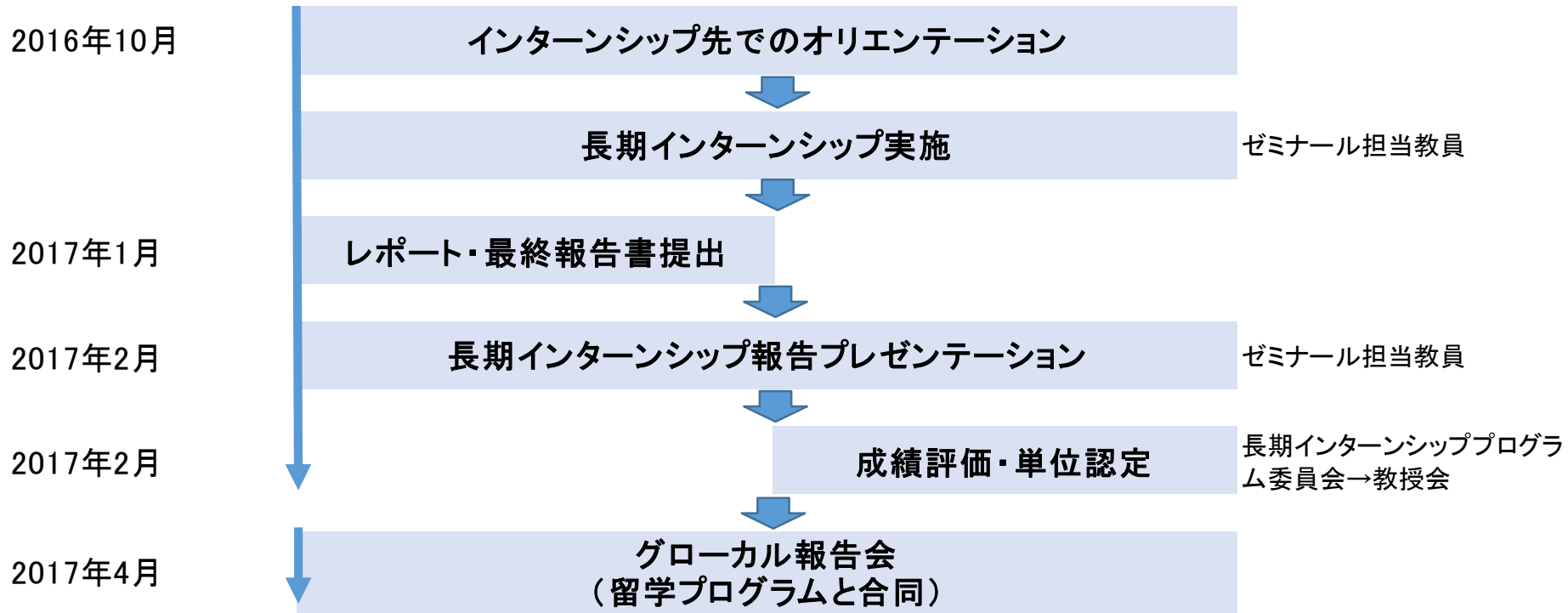
長期インターンシップ合同説明会

- 派遣予定企業のご担当者に御来学頂き、会社概要やインターンシップの内容についてのご説明や質疑応答を実施
 - ご都合がつく限り、全ての派遣先に御来学頂く
 - 派遣予定企業全社分の15週間のプログラム概要資料を事前に学生に配布し目を通させておく
- ブース形式で運営し、学生は各自興味のある企業のブースを訪問する
- 合同説明会を踏まえてゼミ担当教員と面談を実施する

派遣学生の決定について

- 担当教員と学生の間で面談を実施し、自己に適した企業等を調査の上選定し、「長期インターンシップ実施申し込み書」を大学に提出
- 多くの学生が集中した場合には、1年次経営学部初年次必修科目の総合成績（GPA）に基づき、長期インターンシップ運営委員会にて調整
- 事前に企業と学生の面談は実施しない
- 決定後速やかに連絡

インターンシップ実施から評価までの流れ



※ 日程は2016年度のもの

長期インターンシップ実施中の 学生スケジュール

- 月曜日～木曜日：インターンシップ先で研修
 - 日報提出（ご担当者の捺印を頂く）
- 金曜日：専門ゼミナール出席
 - ウィークリー・レポート（A4 1枚）提出
 - ①今週の活動報告、②今週の学び・気づき、③インターンシップの課題
 - マンスリー・レポート（A4 2枚）提出
 - ①毎月の活動のまとめ、②学び・気づき、③ITスキルの活用、④成績評価のための課題レポートの取り組み状況

受け入れ先企業様へ指導体制のお願い

- インターンシップ中の監督者として担当指導員を配置する
- 原則的に昼食代や交通費等は学生の自己負担とし受け入れ先から学生への報酬は支払わない
- 学生の日報を確認し、確認のサインもしくは印鑑を頂戴する
- 学生の長期インターンシップ報告書を確認
- インターンシップの最後に本学指定用紙（就実大学長期インターンシップ評価報告書）に学生の評価を記入し、大学へ提出する

大学側指導体制

- 週に1度はゼミナールで実習状況を確認
- 月に1度は企業様の担当指導員に連絡をとり、実習状況の確認や必要に応じて実習内容の微調整を実施